

時計台前から


VOL. 52
MARCH/2005

SAPPORO INTERNATIONAL COMMUNICATION PLAZA FOUNDATION

特集・札幌 - ポートランド姉妹都市提携45周年

姉妹都市フェスティバル「私たちの姉妹都市」「交流のタベ」「姉妹都市パネル展」、ほか

市民交流

 財団法人札幌国際プラザ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル
Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN
TEL:011-211-3670 FAX:011-211-3673
E-mail:sicpf@plaza-sapporo.or.jp
HOME PAGE:http://www.plaza-sapporo.or.jp

4団体合同会員懇談会、ほか

経済交流

インセンティブ誘致、ほか

コンベンション

プラザ i 移転と3階レイアウト変更、ほか

Information

特集 札幌 - ポートランド姉妹都市提携45周年



札幌 - ポートランド姉妹都市提携45周年を記念し、2月5日(土)から9日(水)までポートランド市長トム・ポッター氏を含む訪問団33名と雪まつり国際雪像コンクール関係者23名(14日まで)がポートランドから来札幌しました。ポッター市長ご夫妻は初めての札幌訪問で、滞在中は訪問団、雪像団の皆さんとさまざまな行事にご参加いただき、さらなる札幌市民との繋がりを深めてくださいました。

札幌の姉妹都市交流は、1959年の米国ポートランド市との締結に始まっております。この姉妹都市交流は国を超えて都市と都市が結びつくことによって、自治体のみでなく、市民、学校、企業など様々

なレベルで交流を持ち学び合い相互理解の促進へと発展するよう期待されております。5年に一度、節目の年に行われる記念事業も短期間ではありましたが、様々な形で「姉妹都市交流」としての絆が深まったと思われます。

今回、札幌とポートランドの45周年記念事業にご協力やご参加いただいた多くの市民、国際プラザのボランティアの方々、関係者の皆様に感謝するとともに、一人でも多くの方が今後も姉妹都市の方々との交流が継続されることを願います。

姉妹都市提携45周年記念・モエレ沼市民交流プログラム



2月6日(日) 午前11時半からモエレ沼公園ガラスのピラミッドにてポートランド親善訪問団をお迎えして、国際プラザボランティアを中心とする市民の皆様との交流会が行われました。

一行はまず、桂信雄 札幌姉妹都市協会会長の歓迎とモエレ沼公園の説明を受けた後、ポートランドに姉妹提携団体をもつ若菜会の皆様によるお琴と尺八の演奏に耳を傾けました。その後参加者のみなさんと一緒にお弁当を食べながら、なごやかな雰囲気の中で交流が行われたほか、着物の着付けやお茶席での日本文化も体験。ポスター・

ポートランド市長ご夫妻の着物姿は大変お似合いで、参加者の皆様による写真撮影会が行われました。また、『北人』による迫力あるYOSAKOIソーランに会場は熱気で包まれました。

札幌市民の皆様と直接交流する機会が少ない中、短い時間ではありましたがポートランド代表団の皆様には札幌の温かい歓迎の気持ちが伝わり、忘れられない交流の一日となったことと思います。



姉妹都市提携45周年記念 市民交流・式典とキタラコンサート



2月7日(月) 午後6時半から札幌市民とポートランド訪問団との交流を含む式典とコンサートが札幌キタラコンサートホールで実施されました。約600名の札幌市民とポートランド訪問団約60名がコンサートホールのホワイエで歓談の後、大ホールにおいて札幌市立美しが丘小学校の合唱団による「虹と雪のパラード」等の歌によりポートランド訪問団の札幌来訪を歓迎しました。また両市長からの挨拶、上田文雄札幌市長よりポートランド・札幌姉妹都市協会会長 ジョージ・マーダイク氏への感謝状贈呈、さらに両市による記念品交換、再調印式が行なわれました。この調印式はさらに今後の50周年にむけてポートランド市と札幌市との友好発

展させていくことを確認するものであり、両市長や関係者の方が固い握手をしました。最後にポートランドへ2回演奏旅行を行っている札幌フィルハーモニー管弦楽団有志による「主よ、人の望みの喜びよ」等の演奏により両市民の希望や喜びを表し、式典は滞りなく終了しました。



ポートランドを知るセミナー 「観光都市」ポートランドの魅力に迫る

2月8日(火) 午後2時からコンベンションホールにおいて、標記セミナーが行われました。親善訪問団の一員として来札していたポートランド・オレゴン観光協会国際観光部長のジェフリー・ハマーさんが講師を務めました。約15年の滞日経験があるハマーさんは、流暢な日本語で、パワーポイントを用いながら数々の美しい写真を紹介し、わかりやすくポートランドの魅力について語りました。

さらに、ポートランドへのアクセス方法については成田とポートランドを結ぶ唯一の直行便を運行しているノースウエスト航空会社の東日本代理店営業部アカウントマネージャーの平野英樹さんが、オレゴン州やポートランドの情報については米国オレゴン州政府駐日代表部オフィスマネージャーの堀具子さんと第一インターナショナル社長のすえみクラットビルさんが補足説明を行い、ハマーさんとの楽しいかけあいに会場は何度も爆笑の渦に包まれました。

また、参加者にはポートランド・オレゴンを紹介する英語と日本語のガイドブックやオレゴンの名産品であるヘーゼルナッツやミントも配布されました。休憩時間には、オレゴン州の食材を使った

Sweet of Oregonと称されるお菓子とオレゴン州のボイドコーヒーを味わっていたきました。最後に、ポートランド・オレゴン観光協会のロゴマークの入った賞品が当たるクイズを行った際も、大変盛り上がりました。

オレゴン州・ポートランドと日本の両方が大好きで両国を結びつける仕事に幸せを感じているというハマーさんの講演に、参加者の皆さんもポートランドへ行ってみたいとなったに違いありません。

なお、今回の講師ハマーさんが中心となり2月6日から10日まで札幌地下街のオーロラタウンにおいてポートランドPRブースを設置し、ポートランドの魅力等を市民に幅広くPRしました。このブースの運営にはコンベンションビューローと交流事業でポートランドを訪れた市民の方々のご協力もあり、友好的な雰囲気の中でのPR活動となりました。



姉妹都市フェスティバル 「わたしたちの姉妹都市」交流の夕べ」姉妹都市パネル展」

2月19日(土) JICA札幌国際センターとリフレサッポロにおいて、第7回姉妹都市フェスティバルがおこなわれました。これは、札幌の4つの姉妹都市を広く市民に紹介し、交流の促進を図ること、また札幌を中心とした4姉妹都市間の交流の場を設けることを目的に開催されています。

第1部「わたしたちの姉妹都市」では、市民海外姉妹都市訪問助成事業などで実際に姉妹都市を訪問した市民の方々が体験談として、姉妹都市での交流の様子をお話しました。また、ポートランド在住の荒木孝司さんによるミニ講演も行われました。

第2部「交流の夕べ」には札幌在住の各姉妹都市出身者や札幌市の国際交流員が参加し、市民の皆様との交流を行いました。また、

在札幌ロシア連邦総領事館から、シェフチェク総領事ご夫妻らにもご出席いただきました。会場では姉妹都市の紹介のほか、姉妹都市クイズ大会も行われました。

また、2月17日～22日にはさっぽろ地下街オーロラコーナーにて姉妹都市パネル展も開催され、多くの市民の方にご覧いただきました。



姉妹都市パネル展



わたしたちの姉妹都市



交流の夕べ

第56回さっぽろ雪まつり 外国語ボランティアガイド

今年もさっぽろ雪まつりが2月7日から13日まで大通・真駒内・すすきの会場で開催されました。札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワークでは12月から準備会を開き、会場で配布するリーフレットの作成や案内所用の資料の整理など準備を進めてきました。開催期間中は、大通・真駒内会場で巡回と案内所に分かれ、外国人観光客はもちろんのこと日本人観光客の方々へも案内を行い、76名(延べ162名)の外国語ボランティアの方々が活躍しました。悪天候の中での活動や案内所での雪まつり以外の様々なお問合せに対し大変な場面もありましたが、来場者からの「ありがとう」の言葉に疲れも吹き飛んでいたようです。

他に国際情報コーナー・JR札幌駅構内東改札口・地下鉄さっぽろ駅券売機前にも臨時案内カウンターを設置し、雪まつりを含む札幌各所の案内を行いました。寒い中ご協力いただいたボランティアの皆様ありがとうございました。



札幌の姉妹都市・友好都市

ポートランド市

《昭和34(1959)年11月提携》
アメリカ合衆国オレゴン州最大の都市で、「ローズ・シティ」の名前で親しまれています。世界的に有名な「バラ祭り」は、毎年6月に開催されています。幌平橋の「ポートランド広場」には、同市から寄贈されたシンボル彫刻「サーモン・リバー」やポートランドを紹介する情報板が設置されています。人口約53万人(ポートランド都市圏192万人)、面積228平方キロメートル。

ミュンヘン市

《昭和47(1972)年8月提携》
ドイツ連邦共和国バイエルン州の州都で、ドイツ南部の政治・経済・文化の中心地。オペラ、演劇など芸術の面でも優れ、秋には世界の3大祭りの一つといわれる「オクトーバーフェスト」が開催されます。大通公園西11丁目には同市から寄贈された「マイ・バウム(5月の木)」が設置されています。人口約130万人、面積310平方キロメートル。

瀋陽(シェンヤン)市

《昭和55(1980)年11月提携》
瀋陽は、中華人民共和国遼寧(りょうねい)省の省都で、東北地方最大の重工業都市です。近年は第3次産業の育成に力を入れるなど、産業構造の改革に努めており、遼東半島経済開放区の中心都市として、今後の飛躍が期待されています。人口約680万人、面積12,980平方キロメートル。

ノボシビルスク市

《平成2(1990)年6月提携》
ロシア連邦ノボシビルスク州の州都で、西シベリアの経済・文化・学術の中心地です。シベリアのボリショイ劇場と呼ばれる国立オペラ・バレエ劇場や科学アカデミー・シベリア総支部の置かれる学術街アカデムガラドクがあることでも有名です。人口約140万人、面積477平方キロメートル。

第14回開高健記念アジア作家講演会シリーズ 韓国新世代作家キム・ヨンス講演会

「心の中にある記憶の“灯り” - 韓国新世代作家がつむぐ個人の歴史、そして民族の歴史」



標記講演会シリーズは、1989年に亡くなられた開高健氏のご遺族から寄せられた志をもとに、国際交流基金が1990年から毎年アジアより文学関係者を日本に招へいし、日本では紹介される機会の少ないアジアの文学を紹介するため開催してきました。14回目の今回、国際交流基金からの呼びかけで初めて札幌でも実施することになり、プラザと北海道立文学館との三者の共催で、道立文学館を会場として行いました。

日韓外交正常化40周年にあたる「日韓友情年2005」を記念して、今年は韓国よりキム・ヨンス氏をお招きしました。軍事独裁体制の終焉によって方向性を失った抵抗文学としてのこれま

での民族文学に対し、1990年代に登壇した「新世代作家」は、個人の内面に目を向けており、キム氏は代表的な新世代作家の一人です。キム氏は、韓国の政治的・経済的状況などが文壇にどのような影響を与えたか、村上春樹氏を中心とする日本文学の影響も交えて紹介しました。また、自らの身体と心で、他者と理解できるところからわかりあっていくものが文学であり、参加者との接点を生みだそうと、日本で生まれ育った自分の両親の歴史についても詳しく語りました。参加者は講演には真剣に聞き入り、質疑応答ではキム氏のユーモアあふれる答えに笑いもおこり、楽しい雰囲気の中講演会は終了しました。

各国を知るセミナー

第21回ロシアを知るセミナー 「シベリアの名産品」

1月20日(木)、コンベンションホールにおいて、第21回ロシアを知るセミナーが行われました。講師はノボシビルスク市出身の国際交流員のマリナ・ピリペンコが務めました。2005年は札幌とノボシビルスク市が姉妹都市提携15周年を迎えることから、同市についての理解を深めてもらうため、そこに住む人々、気候等を紹介しながら、それがどのように名産品の誕生に結びついたのか、名産品そのものの魅力とあわせて語りました。

名産品は写真で紹介しただけでなく、会場にも用意し、参加者も実際に手にとってその良さに触れることができました。講師が愛情を込めてこれらの名産品について語るので、参加者からは大変楽しく学ぶことができたという感想が寄せられました。今回のセミナーをきっかけに、より多くの市民の方の間で、姉妹都市ノボシビルスク市への関心と理解が深まり、周年事業が盛り上がるのが期待されます。



第21回中国を知るセミナー 「今日中国・都会の暮らしと農村の暮らし」

1月25日(火)、札幌市民会館第五会議室において中国を知るセミナーが開催されました。中国からの国際交流員の黄先青が講師を務め、映像、写真、パワーポイントを上手く使って飽きることがなかったと好評でした。最初に、中国の行政区分と、農村と都市に分かれる戸籍制度について述べてから、これまで紹介されることのほとんどなかった中国の農村の暮らしと都会の暮らしの現状を幅広く紹介しました。農村と都市の両方の暮らしを知る講師は自らの経験も交えて率直に語り、参加者にとっては殆どの内容が大変新鮮な知識であり、また、現状における課題も知ることができたため、なおさら中国を身近に感じる事ができたそうです。

まもなく2年間の任期を終えて帰国する講師の最後の講演でしたが、講演を通じて講師の誠実な人柄が参加者にも伝わり、最後には帰国に際しての激励の言葉を数多くいただきました。



札幌圏大学国際交流フォーラム創立15周年記念事業 第2弾 「札幌圏大学の国際化-過去・現在・未来」

札幌圏大学国際交流フォーラムは、創立15周年記念事業の第2弾として、歴代の幹事長3人を講師としてお招きし、2月24日(木)、コンベンションホールにて「札幌圏大学の国際化 過去・現在・未来」と題して講演会を行いました。初代の幹事長金川弘司北海道大学名誉教授(社)北海道獣医師会会長、(社)日本獣医司会副会長は「フォーラムの創立と国際交流」、曾野和明

北海道大学・帝塚山大学名誉教授は「連結の進展にみる横串の効用」中村 義男北海道大学名誉教授・北京科技大学客員教授は「私の経験 フランスと中国」と題し、それぞれのフォーラムとの関わりや国際交流の体験を話しました。集まったフォーラムのスタッフは今後のフォーラムの在り方、大学の国際化の在り方などを考える機会となりました。



留学生と企業の方々とが交流を深める 4団体合同会員懇談会を開催

去る1月27日(木)、ホテルニューオータニ札幌にて「4団体合同会員懇談会」を開催しました。

今回の懇談会は、北海道大学大学院に在籍し、道内企業に関心を持つ留学生を招き、留学生の就職支援や北海道経済の国際化を考える場として、WTCサッポロが北海道経済国際化推進会議、社団法人北海道国際貿易促進協会及び北海道新華僑華人連合会と合同で開催したものです。

懇談会では、株式会社札幌デンタル・ラボ

ラトリー 代表取締役社長 山賀 英司 様に「留学生の受入を通じた企業の国際化を考える」、そして、有限会社北海道チャイナワーク 総括部長 于 徳志 様に「留学生からみた就職環境の現状及び日本企業への提言」と題し、それぞれご講演をいただきました。

また、引き続き開催された懇親会では、企業の方々と留学生とが活発に意見交換をする姿がいたるところで見受けられました。参加された留学生からは「このような機会が今まであまりなかった。今後も引き続き開催



して欲しい」、企業の方からは「留学生の採用を真剣に考えたい」といった声が寄せられるなど、大変ご好評をいただきました。

札幌国際プラザでは、今後とも企業の国際化を支援するため、様々な事業を行って参ります。

企業訪問や地元企業人との意見交換を行う ETP札幌研修を開催



ETPは、EU諸国と日本とのビジネスを促進するため、駐日欧州委員会がEUの若手ビジネスパーソンを日本に招聘し日本語研修及び日本企業での研修を行うプログラムです。札幌研修はこのプログラムの一環として、去る2月8日から2月10日までの3日間、札幌国

際プラザとの共催により開催したものです。まず、ジャスマックプラザホテル、佐藤水産サーモンファクトリー、小樽ビール醸造所、アミノアップ化学、西山製麺工場の5社を訪問し、北海道の経済や産業について理解を深めていただきました。

また、研修最終日に実施した交流会では、株式会社富士メガネ 代表取締役会長 金井 重博 様に「『歩』を『金』にする ~経営は人格なり~」と題しご講演いただくとともに、

「社員の能力開発の方法・手段について」といったテーマに基づき、地元企業の方々と意見交換をしていただきました。

続いて開催された懇親会には、在札幌スペイン国名誉領事館の名塩名誉領事にもご出席いただき、スペインの研修生と交流を深めていただきました。今回の交流会・懇親会は研修生のみならず地元企業・経済団体にとっても、意義深いものとなったようです。

世界貿易センター連合からの退会と 新しい経済交流事業への取り組み

札幌国際プラザは、国際的な交流拠点として本市経済の国際化を推進し経済の活性化を図る目的で、札幌市第3次長期総合計画における「世界に結ぶサッポロプログラム」の主要事業の一つとして、平成8年10月に世界貿易センター連合に加盟いたしました。開設以来、国際プラザのコンベンション事業、市民交流事業と一体となって活動してまいりましたが、既往の事業を見直す運びとなり世界貿易センター連合を退会しWTC事業

を終了することといたしました。賛助会員企業・団体や関係団体の皆様には、「WTCサッポロ」の開設及びWTC事業の開始以来、数々のご支援ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

札幌国際プラザは、世界貿易センター連合からの退会後も、札幌市や地元経済団体等との連携を図り、グローバルな経済交流や国際的な企業活動推進のための海外高度人材の紹介や経済交流事業などに取り



組んでまいりますので引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本語の教え方、教えます。

日本語教師養成講座

教育訓練給付制度適用講座

多くの卒業生が国内外で活躍しています

- 本格的420時間実力養成集中講座
- 本科昼間6カ月コース・本科夜間1年コース
- 専修科単位取得コース1年コース

説明会随時実施中!

お問い合わせ、お申し込みは、通話料無料のフリーダイヤルで

0120-979-760

昨年、120名のAET(英語指導助手)がIAJで日本語の研修を受けました。



財団法人 日本語教育振興協会 認定校

IAJ日本語学校

札幌市中央区南1西4 日之出ビル5階 Tel.011-281-5188
URL: <http://myaiy.com> E-mail: info@myaiy.com

にほんご JAPANESE

外国人のための日本語コースです

毎月初めスタート。少人数(2~8名)レベル別。

- 長期大学進学コースもあります(就学ビザ取得可)
- プライベートレッスン
- 企業委託



きめこまかな受入支援プログラム ~ 再訪を促す「鍵」

韓国企業インセンティブツアー団体、相次ぎ来道！

韓国から中・大型企業インセンティブツアー団体が相次ぎ来道し、冬の北海道を満喫しました。

2001年2月を皮切りに今回で5年目のツアーとなった「韓国アムウェイ社」は、2月14日から19日までの5泊6日間、総勢約300人がルスツリゾート(3泊)と定山溪温泉(2泊)を中心にゆったりとした滞在を楽しみました。当ビューローからは例

年同様、関係者の入国に際して税関等関係当局との事前連絡において支援を行っています。

また、今回初めて北海道を旅行目的地とした「We-Best International社」は、総勢900人が3班に分かれ、2月13日から23日までの10日間にわたり、ザ・ウインザーホテル洞爺・定山溪ビューホテルに滞在しました。同社のツアーは、洞爺湖で

遊覧船に乗船、ルスツリゾートで冬遊び体験、花火・レーザーショー・同社広告飛行船の打ち上げといった観光アトラクションや、札幌・小樽・白老・登別など道央圏観光地めぐりを含む多彩なプログラムに満ちていました。

当ビューローでは、初来道となった同社の北海道再訪を期待し、きめこまかな受入支援活動を行いました。



スカイレディ千歳がVIP到着を歓迎

- 1 滞在査証申請時の補足資料として「歓迎招請状」を提出
- 2 税関等関係当局との事前の連絡調整
- 3 新千歳空港での歓迎プログラム手配
 - (1) 北海道中央南部観光交流会(事務局:(社)千歳観光連盟内)「スカイレディ千歳」派遣要請、関係諸手配
 - (2) VIPへの花束・記念品贈呈、ツアー参加者全員への記念品贈呈
 - (3) 歓迎パナーの臨時掲出(新千歳空港到着ロビー内及び空港公園敷地の2カ所)
- 4 札幌コンベンション関連産業へのビジネスリード提供・成約(イベント支援、セミナー用の花束調達)
- 5 報道機関への周知、VIPインタビュー等のツアー広報協力

受入支援活動に際し、あたたかいご理解とご協力を賜りました関係機関の皆さまに心からお礼申し上げます。

上記VIPインタビュー記事や滞在日程などの詳細は、専門ウェブサイトでご紹介しています!
<http://www.plaza-sapporo.or.jp/bureau/incentive/>

平成16年度JICA留学生セミナー(春期)「観光振興」 JICA留学生が冬の観光魅力を研修 - “雪は重要な観光資源！”

去る2月22日から3月1日まで、日本の大学院で学ぶJICA(国際協力機構)留学生10カ国19名が、「北海道の観光振興」をテーマに研修を行いました。コンベンションビューローでは、札幌・小樽・ニセコの3つの地域でプログラムを企画し、観光施設やホテル、地元との交流など、観光に欠かせない分野での講話と体験を実施しました。アジア

等からの学生達は、「国際都市札幌にはもっと外国語表示を」、「ロマンチックな小樽を恋人たちの街に」、「ニセコの最高の雪質を世界にPR」など、意見を活発に交わしていました。後半には、1泊2日のホームステイもあり、日本文化に触れる和やかなひとときもありました。



市民エキストラ300人が参加!

映画「交渉人 真下正義」札幌ロケ実施 さっぽろフィルムコミッション



去る1月11日(火)から翌12日(水)の未明にかけて、大ヒット映画「踊る大捜査線」シリーズ最新作「交渉人 真下正義」の札幌ロケが、札幌市営地下鉄で行われました。

昼の部と夜の部の2回に分けて撮影を実施。昼の部は市民エキストラ100名余りを投入し、札幌市交通局の東車両基地内でエキストラを乗せ車両を走行。夜の部は市民エキストラ約200名を投入し地下鉄東豊線大通駅で撮影したほか、終電後は回送用の短絡線に車両を走行させ、翌日の未明までロケが行われました。

また、通行人・乗客役のほかに、特殊部隊

SAT役の男性25人もさっぽろFC登録のエキストラでした。SAT役のなかには現役の自衛官や消防士の方もいました。10kg以上もある戦闘装備具を身につけ走る体力的に大変ハードな役でしたが、地下鉄が走行する暗い構内で、昼夜を通して熱演しました。

札幌の地下鉄ロケとしては過去最大規模で行われましたが、映画の中では東京の地下鉄という設定。札幌のほか、神戸、横浜、大阪で撮影が行われました。劇中、どこで札幌が出てくるか(札幌と判別できるか)見るおもしろさもあると思いますので、ぜひ、映画館に足をお運びください(5月7日(土)全国ロードショー)。

01 プラザ：移転と事務室レイアウトの変更



プラザ



図書閲覧コーナー

札幌MNビル1階にあるプラザが3階に移転、交流サロンとあわせて今までより充実した情報提供と相談を行います。写真は2月末の様子ですが、どうしたらもっと使いやすくなるのか、いろいろな角度から検討しています。みなさんにこの「時計台前からvol.52」をお届けするところには、リニューアルした札幌国際プラザをご覧いただけるよう職員一同がんばっています。新しくなった札幌国際プラザにぜひお越しください!



交流サロン

02 国際交流員の近況紹介 黄先青(中国)さんが帰国

2003年4月、山頂はまだ残雪に覆われている季節に、北海道への憧れを胸いっぱい抱いて札幌に参りました。いつのまにか二年たってしまいました。初めて「光陰矢のごとし」という言葉の意味を実感しました。

二年の間に、学校訪問・講演・レツトワークプログラム・通訳・CIR新規事業を通して、多くの市民の皆さんに接して、沢山いい思い出ができました。暖かいおもてなしをいただいたことが、私の心に終生忘れがたい深い感動をもたらしました。いつも札幌に来て良かったと思います。

また、自然に恵まれた北海道・札幌の魅力も十分に堪能しました。北国の独特の風味、美味しいラーメンや海鮮、家族のような人間関係などがあります。札幌が大好きです。名残惜しくてもまた札幌に来たいのです。札幌も私の第二の故郷になったと思います。

多くの日本の方が中国のことに関心をお持ちになるのは私にとっては一番嬉しいことです。これから、私も微力ながら中日友好の架け橋になり、全力を尽くして参りたいと思います。

寒さがまだ残っている季節に帰国します。



中国もいいところですので、北海道の皆さん、札幌の皆さん、是非中国にいらしてください。

任期中お世話になった多くの方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。謝謝!

20ヶ国以上の留学生と異文化交流、 多文化の共有を体験できる日本語学校です。

あなたのご都合に合わせた3コース
日本語教師養成講座

教育訓練給付制度適用

(コース修了後、授業料の40%、最大20万円が戻ります。)

- 専科(6ヵ月間集中)
- 本科(夜間一年)
- 本科(全日制・夜間)

説明会随時実施中!

※入学時期は4月、10月の年2回。
 ●本校の詳細については、右記の住所まで500円切手を同封の上、入学案内をご請求下さい。



外国人のための日本語
JAPANESE FOR FOREIGNERS
 ■大学進学コース ■一般日本語コース

(財)日本語教育振興協会認定校
 札幌国際日本語学院
 Japanese Language Institute of Sapporo

〒064-0806札幌市中央区南6条西26丁目2番7号
 地下鉄円山公園駅徒歩7分
 TEL.011-562-7001 FAX.011-562-7002
<http://www.jli.co.jp> E-mail:info@jli.co.jp

03 スマトラ島沖地震救援金について

平成16年12月26日(日)現地時間午前8時(日本時間午前10時)に発生したインドネシア・スマトラ島北端の西方沖を震源地とするマグニチュード9.0という大きな地震と、これに伴う10mともいわれる大規模な津波がスリランカ、インド、タイ、マレーシアなどのインド洋沿岸各国を襲い、未曾有の大被害となりました。札幌国際プラザでは、被災者の方々の救済や被災地の復興支援に少しでも役

立ていただくため、平成17年1月5日より交流サロン、プラザ i、天神山国際ハウス、コンベンションセンターの4か所に募金箱を設置し、2月末で95,314円が集まり、日本赤十字社を通して寄付いたしました。被災者とそのご家族に対して心からお見舞いを申し上げますとともに、みなさまからのご協力に心より感謝申し上げます。



04 平成16年度 第2回理事会・評議員会

3月23日(水)評議員会、3月24日(木)理事会をそれぞれコンベンションホールにおいて開催し、平成17年度の各会計予算及び事業計画等が認定されました。各会計予算及び事業計画書については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ホームページ <http://www.plaza-sapporo.or.jp>

05 札幌天神山国際ハウスをご存知ですか？

都会の喧騒を離れ、緑豊かな公園内に建てられた札幌天神山国際ハウス。ここは、学術・文化交流または視察などの目的で国内外から来札する研究者や国際交流関係の方々等が、落ち着いた環境の中で滞在できる宿泊施設です。

各部屋に簡易キッチン、共用部には洗濯室を設置しているほか、宿泊日数に応じた宿泊料の特別割引制度など中・長期滞在者へのサポートを充実させています。

市民の方々にもご利用いただけるよう常設の展示のほか宿泊者講演会や日本文化体験などを随時開催していますので、お気軽にお問い合わせください。

住所:札幌市豊平区平岸2条17丁目1-80
電話:011-823-1000
ファクス:011-823-1867
E-mail:sg@plaza-sapporo.or.jp
URL:<http://www.plaza-sapporo.or.jp/sg/>



06 賛助会員募集

札幌国際プラザでは市民、団体、企業の幅広い皆さまのご支援・ご協力に支えられて様々な事業を行っております。会員にはプラザ主催イベント、講演会、セミナーへのご案内や有料出版物などの割引を行っています。ぜひご加入ください。

個人会員 / 一口3千円 団体会員 / 一口2万円

《賛助会員数》(2005年2月末現在)

【個人会員】1,098人 【団体会員】331団体

ご加入については、お気軽に電話でお問い合わせ・お申し込みください。
TEL(011)211 3670 札幌国際プラザ総務課

困ったときはおたずねください。
秘密を厳守します。

- 外国人との結婚や子供の国籍問題
- 日本国籍の取得や永住許可手続き
- 外国人社員の雇用や日本への招聘
- 在留資格の変更や期間更新の申請

行政書士法人滝沢俊行事務所

行政書士 滝沢 俊行
行政書士 樋口 彰

札幌市中央区南3条西10丁目杉山ビル1F
TEL.011-261-2465
E-mail:takizawa-t@gyosei.or.jp
<http://www.2s.biglobe.ne.jp/~takitomo/>

国際結婚・国籍・
永住の相談と手続